

学 位 論 文 要 旨

氏 名 山下 世史佳

題 目 高齢者の歌唱活動による変容と自己の生成

本研究の目的は、芸術活動としての歌唱活動を通して、高齢者が変容することで生活を創造するとともに自己を生成させていくことを、歌唱活動の実践やインタビュー等の質的なアプローチを中心に解明していくことである。また、高齢者のクオリティ・オブ・ライフ (Quality of Life) やウェルビーイング (Well-being), サードエイジ (Third-age), サクセスフル・エイジング (Successful-aging), 生きがいといったキーワードに象徴されるような、歌唱活動に関わる生き生きとした高齢者の実態を明らかにすることである。

人として生まれた以上は、誰もが必ず老化する。高齢者は、加齢により不可逆的に生じる身体の変化と、それに伴う疾病や心の変化に直面する。老化は人によって差異があるが、少なからず生活に何らかの影響を及ぼすようになる。このような高齢期において、歌唱活動がもたらす影響は大きいと考えた。

本研究の方法として、質的なアプローチでは、事例分析、会話分析、ライフストーリー・インタビュー、ビデオ画像を用いた表情や身体表現の観察等を行った。量的なアプローチとしては、意識調査、KH coder を用いた質問紙調査分析を行った。歌唱活動における断片的プロセスの中で、対象者と時間、対象者と他者、対象者と実践者間の呼応関係が発展していくことを、歌唱活動とそれに伴う言語活動、交友関係、心身等の変容と自己の面から多角的に論じ、歌唱活動という活動がどのように高齢者の生活を創造し自己を生成していくのか、高齢者が行う歌唱活動がどのような意味で芸術的活動へと発展できるのかを明らかにした。本研究は、以下の6章の内容で構成された。

第1章では、高齢者の音楽活動が行われる場所と内容を精査した。高齢者を対象に行われている民間の歌唱活動と講座の概観、音楽教育と音楽療法の両面における歌唱活動の位置づけと、生き生きと老いることをテーマに音楽学習に取り組んでいる高齢者像、老化によるQOL (Quality of Life) やADL (Activities of daily living) の向上のために行われる音楽療法の重要性、対象者の主体性に語りかけるようなアプローチについて述べた。

第2章では、高齢者の歌唱における涙の表出、高齢のプロ歌手やアマチュア声楽家の歌との関わりについて述べた。彼らが歌うことで生活を創造し、実存的な生きる価値を知覚していることや、歌唱活動に取り組むことで「幸福な老い Successful aging」を生み出していることを示した。

第3章では、合唱とカラオケの活動に関わる高齢者への意識調査と語りについて述べた。合唱に関わる者は、歌うことで「楽しみ」「健康」「音楽の追求」「歌の上達」「仲間作り」といった社会性や歌の上達に目を向けていた。カラオケに関わる者は、課題を明確に意識しながらも練習を重ねて上達することに意欲的であった。両者ともに、歌うことが日常生活と深く関わり生活に浸透し、人生を意味づけるような大きな影響を及ぼしていることがわかった。

第4章では、高齢者向け歌唱プログラムの開発と実践について述べた。筆者がこれまでに実践してきた歌唱活動の中から開発した歌唱プログラムの内容や、実践前中後の注意点、参加者と内容の対応等を詳細に示すとともに、ウォーミングアップの効果についての実践研究を行った結果、高齢者の心身や行動に良好な変容がみられた。

第5節では、筆者の行う歌唱教室に参加する自活者、ケアを必要とする認知症者、うつ病女性、アルツハイマー型認知症者に対する歌唱実践を取り上げ、歌唱活動を通じた高齢者の変容と自己の生成

ついて述べた。歌唱活動によって心身に変容が起こり、他者との関わりや自己との対話によって、記憶の中から想起される自己、他者との関わりにおける自己から、今ある自己やこれからの自己を生成していた。彼らは今を生きることを受容し、生きていることの喜びや存在意義を感じていることが示唆された。

第6章では、歌唱活動に関わる高齢者の共通性を、音楽療法、音楽学習、あらゆるタイプの高齢者における歌唱活動という観点から導き、高齢者の生きるエネルギーや人生経験によって、高齢者の歌唱活動が芸術的活動へと発展できることを示し、本研究における高齢者の変容と自己の生成の関係を図示した。

本研究によって、歌唱活動が多角的に生きる意味を与え、一人一人の人生を芸術的活動へと発展的に変容させることがわかった。そして、それらの変容による自己の生成で、高齢者のQOLが向上し、人によってはSuccessful agingへ向かい、人によっては生きがいやWell-beingを得られることが示唆された。

本研究の意義は、高齢者の歌唱活動が、活動本来のもつ芸術的力に後押しされ、高齢者の良好で充実した幸福な生活とその生活を生成していく自己の資質を相互に向上させていくことを明らかにした点である。歌唱活動が高齢者にとって全人的力になることは、歌唱活動それ自体が高齢者にとって芸術的活動と発展し得ることを示している。